

はじめに

奈良県の指定棚田マップ

※令和4年7月現在の指定棚田地域を表示



Terraced Rice Fields in Nara

奈良県では、棚田地域振興法が令和元年8月に施行されたのに伴い、令和3年4月に奈良県棚田地域振興計画を策定し、棚田地域の振興を推進しています。

その一環として、地域活動に取り組む方や、棚田地域に関心がある方に棚田地域のことを広く知っていただくため、棚田PR冊子を作成しました。冊子の作成に当たり、取材や写真・情報提供にご協力いただいた方々に感謝いたします。

奈良の貴重な棚田の景観と、そこで努力を重ねてきた人々をより多くの方に知っていただくことで、次の世代へとつなげるきっかけ、原動力になればと考えておりますので、ぜひご覧ください。

令和4年11月
奈良県 食と農の振興部 農村振興課

葛城市

「葛城山麓地域の棚田」
> p.7



明日香村

「稲渕の棚田」「細川谷の棚田」
> p.3 > p.6



奈良市

「阪原の棚田」「忍辱山の棚田」「大慈仙の棚田」
> p.5 > p.9 > p.10



CONTENTS

棚田が果たす役割	2
棚田の1年「稲渕」	3
次世代に継承される棚田の風景「阪原」「細川谷」	5
棚田地域をみんなで盛り上げる「葛城山麓地域」	7
中山間の自然の恵みと生活を守る「忍辱山」「大慈仙」	9

棚田が果たす役割

棚田にはお米を作るだけでなく、大切な役割があります。

山の斜面や谷間の傾斜地*に階段状に作られた水田のことを棚田といいます。棚田にはお米を作るだけでなく、大切な役割があります。しかし、地形的に生産条件が悪いことから棚田の維持が難しく、人口減少や高齢化により担い手不足が進み、荒廃の危機に直面しているのが現状です。棚田を地域固有の財産として将来に継承するためにも、多面的な役割を守ることが重要です。*傾斜20分の1以上



食糧を生産する

棚田は標高の高い所に位置し、水のきれいな水源が近くにあり、昼夜の寒暖差が大きいことなどから、おいしい米の生産が可能とされています。



美しい景観を守る

代々受け継がれてきた棚田での農作業の積み重ねが、美しい風景をつくっています。



国土や水資源を保全する

日ごろの手入れと耕すことで、土砂くずれを防ぐのに加え、雨を地下水として貯えてゆっくり流出させることができ、川に安定した流れをつくります。



人々に安らぎを与える

澄んだ空気、きれいな水、美しい緑、四季の変化などが人々に安心と安らぎを与え、心身をリフレッシュさせる効果があります。



生態系を守る機能

棚田での農業生産活動により自然が維持されることで、たくさんの生き物が生息・生育し貴重な生態系が維持されています。



伝統文化を継承する

季節ごとに農業と結びついた独自の祭りや文化が発達し、守り伝えてきた歴史があります。

